

副学長の自己紹介

は昔の東海道の16番

目の宿場、静岡県の
由比町です。今は静
岡市清水区になって

います。とにかく温
かいところで雪が降
るのは10年に1回で
す。

高校は静岡市内の
私立高校に通いまし
た。サッカー選手を
多く輩出している学
校でしたが、私はス
ポーツは全くだめ、
勉強も嫌い、そのう
え規律に欠けていま
したから担任からよ
く殴られました。で

も恨む気持ちは全然

ありません。当時は
それが当たり前でし
たから。

大学は岡山大学で
す。共通一次試験の
1回目です。入学し
た時点では美術史を
するつもりでした

が、必修の美学の授
業が面白くて美学の
方に行きました。し
かし次第に美よりも
「生きる 死ぬ」の方
が自分に向いている
ことに気づきまして
修士課程では倫理学
コースに変わりました。

た。

もともと臍曲がり
ですから当時もて囃
されていたニューア
カデミスムなどには

反感しかなく、京都
大学の博士課程へ編
入の際には迷わず中
世哲学史へ行きました。

とにかく社会に
は出ず、やりたいこ
とだけやって生きて
いきたくったので
す。そんな不羈奔放
(ふきほんぼう)な性
格でしたから人脈は
なく、人望はそれ以

上になく、またそれ
でなくても哲学関係
はポストが限られて
いますから、何年た
っても就職はありま
せんでした。

毎週に6コマく
らい大阪や神戸で非
常勤をしました。月
に15万円、年収は1
80万円ほどでした
が、アルバイトをし
て収入を増やす気な
ど全然なく、いずれ
は生活保護を貰えば
いいと割り切ってい
ました。

そんな隠者のよう
な生活を20年余り続
けたすえ2010年
4月、48校目の応募
で本学に採用しても



しては間違
いなくトッ
プクラスで
しょう。今
は第2弾と
して生命倫
理の単著を
書いていま
す。5月の
連休までに
出版社に原

らえました。素直に
うれしかったです。
それで私としては恩
返しのもりで一昨
年に出版した本の力
バーには「名寄市立
大学教授」と入れて
おきました。

偏向マスコミから
は黙殺されています
が哲学史の入門書と
稿を送り、再来年の
定年までには世に出
す予定でいます。
こちらには「名寄
市立大学副学長」と
入れるつもりです
から、名寄市民の皆さ
ん、乞う御期待。
名寄市立大学副学
長
古牧徳生